8/6

4限　14:50~16:20

電通　小柳 仁

「プロデューサーの仕事」

85年東京工業大学 理工学研究科社 会工学専攻修士課程修了。同年(株)電 通入社

第 一マーケティング局第２ＭＤ室、プロモーション事業局プランニング＆プロデュース3部を経て、

現在はプランニングディレクターとして人と人とを繋げて、クライアントの一番の願いを達成できるようにプロジェクトリーダー兼、

責任者兼、管理者として奔走している。

休憩　16:20~17:30

6限　17:30~19:00

松 山東雲学園 学 長　棟方 信 彦

「地域振興・自治体におけるブランドの役割」

ブランドやマーケティングの適用領域の進展に伴い、そのものが進化してきている。

しかしその方向を導くのは、全体的な人間理解であるべきで ある。現実の人間の姿への注目と、

人間の目指すものへの関心が、ブランドやマーケティングを活性化してゆくと信 じている。

人間主義的な視 点からマーケティングを捉え、人間の全体的、とりわけ精神的価値観の把握と、

人間の集団的行動との関係のメカニズムを研究している。

8/7

3限（13:00~14:30）

㈱ アールトゥ計画事務所代表取締役　渡会 清治

「まちづくりについて」

連携と協働的創造による都市や地域の再生という視点から、

これからの地域と大学の連携のあり方を提言し、

各地域の再生まちづくりの取り組み を支援するために、

キャンパスマネジメントの研究者や地域・大学連携まちづくりを実践している。

著書に『都市計 画マニュア ル』（編著、 ぎょうせい）『新・都市計画マニュアル』（共著、丸善）

『都市・農村の新しい土地利用戦略』（共著、学芸出版社）など。

4・5限 （14:50~18:10）

椎塚感性工学研究所　椎塚 久 雄

「売れるデザインと感性工学」

1973年 工学院大 学大学院工学研究科 修了。現在、工学院大学情報学部教授。工学博士。

世の中は「快適」な商品が溢れている。この「心地よさ」はどうやって作り出されているのだろう？

感性工学はユーザーの望む 「楽しさ」「心地よさ」「面白さ」を商品やサービスという形にする研究である。

聞く、見る、触れる、味わう、と いう私達の 知っている感覚 だけでなく、ワクワク感やドキドキ感、

更には、懐かしさ、癒しまでも研究しそれがどこから生まれるのか？どうやったら形にできるのか？

といった感性価値創造を中心に研究にしている。